



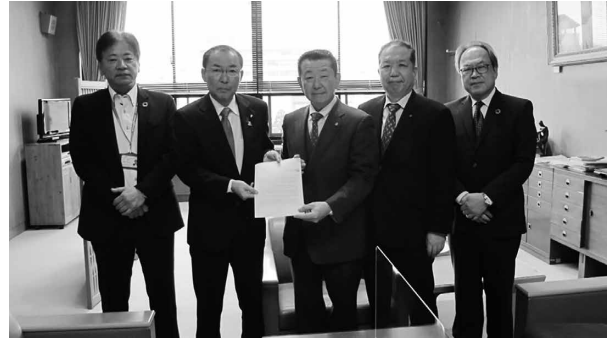
## 島根県へ2023年度政策・制度要請を実施

11月24日（木）、島根県庁において2023年度の政策制度要請を行いました。

県労福協からは、成相理事長（連合島根会長）、仲田副理事長（中国労働金庫島根県営業本部長）、原田副理事長（こくみん共済coop 島根推進本部長）、福間専務理事の4名が参加し、県からは松尾副知事、田中商工労働部長、松本女性活躍推進統括官に対応いただきました。

冒頭、成相理事長が「日頃より、労働者福祉政策にお力添えいただき感謝申し上げます。例年のことであるが、政策制度についての要請をさせていただきたい。若者が県外に流出する傾向が強い中、高校生の就職の県内希望が高まってきたといういい流れが見えてきた。一方で賃金が上がらない厳しい生活環境の中でしっかり相談を受けていきたいと考えている。11月の定例議会では33億円の補正予算を組まれているが、物価対策等に力を入れられており私たちが改善に向けて頑張っていきたいと思っている」と挨拶しました。

引き続き、福間専務が下記の要求内容・趣旨について説明を行いました。



1. 「労働者福祉運動の育成・強化」について
2. 中高年齢者及び女性の就労支援事業の継続について
3. 大規模災害等の被災者支援と復興・再生および防災・減災対策の強化
4. 地域における多様な就労創出を促進する「協同労働の協同組合」の育成・支援
5. 格差の是正、貧困のない社会に向けたセーフティネットの強化
6. 消費者政策の充実強化
7. 安心の医療・介護体制の整備

説明を受け、松尾副知事より「就労支援事業においては、職安の就職率よりも10%程度高い実績を上げていただいております。補助金についても前向きに検討したいし、次年度も事業の遂行に期待したい。個別の項目についてはそれぞれ回答させていただくが、要請されているように、生活弱者に対する行政のアプローチや県民の生活・福祉向上は自治体の存在意義を示すことでもあるのでしっかり受け止めて対応していきたい。」との挨拶を受けました。

要請事項についての回答は1月末日を要望しています。

## フードバンクしまね「あったか元気便」の活動について

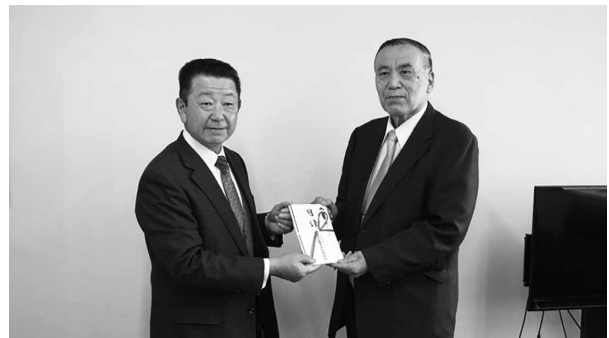
12月13日から20日にかけて、手渡し・宅配便の方法で松江市の就学援助家庭等にお米やお菓子などの食料品を送りました。収束の気配がないコロナ禍の影響で離職者や求職者が増える中、対象小中学校も14校に増え、送り先は昨年同時期の276世帯から361世帯と増加しました。昨年に引き続き、連合島根より540キロの玄米を寄贈していただき、また今回も各企業や有志の方にフードドライブでの食品提供をいただきました。食品仕分けやパッキングにあたってのボランティアの協力は300名を超え、無事に冬休みに向けての取組みを終えることができました。当日は、NHKとマールテレビからの取材もあり、世間の関心も高まっていると思われます。

なお、島根県労福協は本年結成50周年を迎えましたが、その記念事業として11月21日（月）にフードバンクしまね「あったか元気便」に対し50万円の寄付金を贈呈しました。

今後も積極的に取り組んでいきますので、引き続き皆さんのご理解とご協力をお願いします。



連合島根より玄米の寄贈



(左) 労福協・成相理事長 (右) あったか元気便・春日理事長

## 福祉事業団体利用拡大キャンペーンの中間実績報告

「福祉事業団体の利用拡大キャンペーン」は10月から12月の3カ月間を設定しており、10月4日（火）に県労福協、中国労働金庫、こくみん共済 coop の三者で松江市内産別組織（連合島根、UA ゼンセン、JAM 山陰、山陰電力総連、県高教組、自治労県本部、交通労連県支部、電機連合県地域協議会、運輸労連県連合会、情報労連県協議会、JP 労組県連絡協議会）を訪問し、協力要請を行いました。今年度も要請をより効果的なものにするため各組織トップ（理事長、本部長）による訪問としました。

各地区労福協の中間実績を下記のとおり報告します。

各地区ごとの実績に濃淡が見られますが、年度末の目標達成に向けて、地区労福協、労金部会、労済部会、労金、こくみん共済 coop が一体となって取組まれるよう意思統一をお願いします。

### 2022 福祉事業団体利用拡大キャンペーン 取組み目標（2022年10月～12月）と中間実績

#### 中国労金

地区名 推進項目	安 来	松 江	隠 岐	雲 南	出 雲	大 田	江 津	邑 智	浜 田	益 田	合 計
他社ローン借換件数 (有担保・無担保・カード)	15	80	4	4	20	10	3	2	7	4	149
// 11月末実績	8	8	1	1	2	3	2	0	2	1	28
給与振込指定 新規契約件数	20	36	10	30	70	20	5	3	10	10	214
// 11月末実績	2	14	0	2	19	0	5	0	6	6	54
組合機関会議への 参加回数	15	79	1	10	50	10	8	6	15	5	199
// 11月末実績	5	5	0	0	19	2	1	0	4	5	41

#### こくみん共済 coop

地区名 推進項目	安 来	松 江	隠 岐	雲 南	出 雲	大 田	江 津	邑 智	浜 田	益 田	合 計
7才の交通安全プロジェクト マイカー共済掛金見積り目標（地域）	23	29	1	5	29	5	4	1	14	10	121
// 12月21日実績	73	38	2	10	42	5	12	0	19	12	213
7才の交通安全プロジェクト マイカー共済掛金見積り目標（地域）	7	20	3	5	15	5	6	4	8	9	82
// 12月21日実績	9	25	3	4	5	6	1	1	0	2	56
こどもの成長応援プロジェクト こくみん共済 こども保障タイプ 推進目標（地域）	3	7	1	1	6	1	1	1	2	2	25
// 12月21日実績	8	2	5	0	7	1	0	0	0	1	24

### こくみん共済 coop 社会貢献活動 「7才の交通安全プロジェクト」 一般財団法人 島根県交通安全協会へ「横断旗」1,800本を寄贈

## 7才の交通安全プロジェクト

こくみん共済 coop は、社会貢献活動の1つとして未来ある子どもたちを交通事故から守っていく思いから2019年より「7才の交通安全プロジェクト」活動を取り組み、今年で4年目となります。

この取り組みは、マイカー共済の掛金見積もり1件につき1本の「横断旗」の寄贈をおこなっています。



11月8日（火）一般財団法人島根県交通安全協会において、「横断旗」の贈呈式をおこないました。

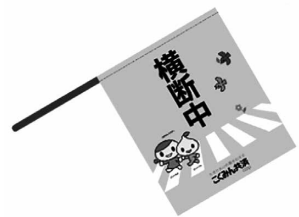
贈呈式には、一般財団法人島根県交通安全協会より榊原専務理事様、丸本業務部長様、こくみん共済 coop から島根推進本部 原田本部長、自治労共済推進本部島根県支部 川添事務局長出席のもと、榊原専務理事様へ1,800本寄贈目録の贈呈をおこないました。

贈呈式後、一般財団法人島根県交通安全協会 榊原専務理事様より、寄贈いただいた「横断旗」を県内の安全協会で使用し、登下校する子どもたちを交通事故から守る活動に役立ててまいりたいとのコメントをいただきました。

こくみん共済 coop は、これからも組合員皆さまのご協力のもと、様々な社会貢献活動を積極的に展開してまいりますので、引き続きのご協力をお願いいたします。

### こくみん共済 NEWS coop

こくみん共済 coop 島根推進本部  
(島根県労働者共済生活協同組合)  
3122W009





## ★2022年度中国ろうきん島根県推進代表者集会を開催★

11月18日（金）、松江エクセルホテル東急において会員・役職員48名が参加して県推進委員会主催の「2022年度中国ろうきん島根県推進代表者集会」が開催されました。

兼行推進委員長の開会挨拶と仲田本部長の挨拶に続く講演は、ろうきん運動推進アドバイザー河村典子氏（自治労山口県本部副委員長）に講師をお願いし「わたしの労働運動」と題して行われました。

講演では自らの経験を基にした具体的な取組み事例や女性の利用拡大・資産形成の重要性などがわかりやすく話され、参加者の皆さんの理解度も大変高いものとなりました。特に「アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）」については、多くの参加者が興味深く話を聞き、今後の活動に活かせるものとなりました。

講演に続いて中国労金営業企画課 藤島代理より「ろうきん Raseek」の活動について報告を行うとともに各店に配置された Raseek メンバーも紹介し、引き続き島根県においても推進機構などと連携して女性の利用拡大の取組みを進めていくことを確認しました。

最後に藤本副推進委員長より“まとめ”として、女性の利用拡大の取組みを推進委員会としてしっかりと進めていくことなどが述べられた後閉会し、交流会を行いました。



## 大田東ジュニアベースボールチーム（大田市）が3連覇!! 第19回 中国ろうきん杯学童軟式野球選手権大会島根県決勝大会

第19回中国ろうきん杯学童軟式野球選手権大会島根県決勝大会が、10月29日（土）、30日（日）に浜田市野球場で開催されました。

大会1日目は秋空の下、各地区代表8チームによる計4試合が行われました。晴天が続いた大会2日目は準決勝と決勝が行われ、決勝戦は大田勢どうしの対決がタイブレイクの延長戦にもつれ込む大接戦の末「大田東ジュニアベースボールチーム」が見事3連覇を果たしました。

今年度は変則開催となり広島のマツダスタジアムで行われる中国決勝大会はすでに終了しましたが、試合後の選手たちは将来に向けて夢と希望にあふれていました。

各試合の結果は次のとおりです。



大田東ジュニアベースボールチーム

### 〔10月29日〕

- 【第1試合】大田東ジュニアベースボールチーム（大田）6 - 5 佐世野球スポーツ少年団（雲南）
- 【第2試合】赤江ファイターズ（安来）9 - 4 益田七尾スポーツ少年団（益田）
- 【第3試合】吉田クラブ野球スポーツ少年団（益田）5 - 6 × 長久野球スポーツ少年団（大田）
- 【第4試合】神戸川スポーツ少年団野球クラブ（出雲）4 - 3 広瀬スタッグス（安来）

### 〔10月30日〕

- 【準決勝①】大田東ジュニアベースボールチーム7 × - 5 赤江ファイターズ
- 【準決勝②】長久野球スポーツ少年団3 × - 2 神戸川スポーツ少年団野球クラブ
- 【決 勝】大田東ジュニアベースボールチーム3 × - 2 長久野球スポーツ少年団

